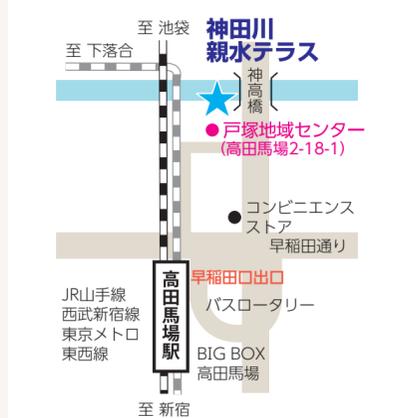


神田川の自然を 体験しませんか

神田川親水テラスを 開放します

夏休み期間中、普段は入れない「神田川親水テラス」を開放します。エビなど水中の生き物を観察できるほか、小学生を対象に神田川を知るための体験学習も行います。
※捕まえた生き物はリリースします。持ち帰りません。



回 7月11日(金)～8月9日(土) 午前10時～午後3時
※天候等により入れない場合があります。事前にみどり公園課みどりの係(土・日曜日、祝日を除く)へお問い合わせください。
※長靴(※)、マリンシューズまたは汚れてもいい靴(はだしやビーチサンダルは不可。川の深さは約20cm)
※長靴は貸し出しできますが、数に限りがあります。
※当日直接、神田川親水テラスへ(小学3年生までは保護者同伴)。
※みどり公園課みどりの係(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎7階) ☎(5273)3924



神田川を調べよう

神田川 夏休み子ども体験講座

1 7月30日(水)

水質調査

「神田川の水、きれい？」



2 7月31日(木)

生き物調査

「神田川にはどんな生き物がいるのかな？」



3 8月1日(金)

水草調査

「川の中にも原っぱがある!？」



4 8月2日(土)

生き物調査

「神田川にはどんな生き物がいるのかな？」



※②④は同じ内容です。

申し込みはこちら!



回 内 下記のとおり。時間はいずれも午前10時～11時30分

場 戸塚地域センターほか

区 区内在住の小学生、15名(小学3年生までは保護者同伴)

往復はがきに4面記入例のほか希望講座(①～④の別。複数選択可)・学年・保護者氏名を記入し、7月9日(必着)までに問合せ先へ。応募者多数の場合は抽選。新宿区ホームページ(上二次元コード)からも申し込みます。

みどり公園課みどりの係

神田川水への染め体験

日程 7月19日(土)

高田馬場の文化と自然をまとめて体験できるイベントを開催します。

★染め物の展示

染物の歴史パネルや着物の展示、染小物の販売を行います。

時間 午前10時～午後3時

場 戸塚地域センター(高田馬場2-18-1)

★みずもと 水元再現 ※雨天中止

水元とは、のりや布に定着しなかった余分な染料を水で洗い流す作業です。水元の工程を説明・再現します。どなたでもご覧いただけます。当日直接、神田川親水テラスへおいでください。

時間 午後0時45分から

★染色体験

染色体験の時間・申し込み方法等詳しくは、同イベント申し込みフォーム(右二次元コード。☎<https://reserva.be/totsukaikuseikai>)をご覧ください。

場 戸塚地域センター

内容・費用等 下記のとおり

内容	費用	所要時間
絞り染め体験	中学生以上…300円 ※小学生以下は無料です。	約30分
友禅染め体験	1,500円	約60分
型染め体験	1,000円	約30分

※汚れても良い服装でおいでください。

※絞り染め体験者は、染めた布を川に入って洗えます。

場 戸塚地区青少年育成委員会・新宿区染色協議会

場 戸塚地区青少年育成委員会 ☎090(4425)1777

場 戸塚地区青少年育成委員会ホームページ(右二次元コード)

☎<https://totsuka-ikuseikai.jps.cloud/2025/>

区 区担当課 戸塚特別出張所 ☎(3209)8551



水元を再現した様子



3色から自由に選び布を染料で煮る作業



染色後に染料を神田川で洗い流す作業



絞り染め後の乾燥



着物の展示

なぜ?

高田馬場で 染め物なの?

染色産業は、江戸の地場産業で武士の袴に代表される小紋染めなどが発展。その染色産地の中心は、初めは神田や浅草でしたが、明治時代以降、水質の変化に伴い拠点を上流へと移りました。現在の江戸川橋から落合までの地域で染色が発展していき、高田馬場でも染色産業が栄えました。

現在も高田馬場・落合・中井などの神田川や妙正寺川沿いでは、染色の技術が受け継がれています。

神田川に生息する 生き物たち

神田川に生息している下記のさまざまな生き物を、戸塚特別出張所(高田馬場2-18-1)1階エントランスホールで、水槽展示しています(右写真)。



アユ



オイカワ



ギンカナ



モツゴ



トウヨシノボリ



スジエビ



親水テラス周辺の神田川にはヌマエビがすんでいるよ